



## 会長就任にあたって

社団法人 電気通信協会

会長 米 澤 滋

このたび、私は、前会長網島 毅氏の任期満了による退任に伴い、電気通信協会の理事会において、理事全員のご推挙により、会長に就任することになりました。

ご承知のとおり、当協会は昭和13年電気通信事業の振興に寄与することを目的として設立されて以来、すでに40有余年の歴史を刻んできております。

この間、戦時体制下の国策推進、戦後の動乱期あるいはその後続く高度成長期、安定成長期の激動する諸情勢の変化に対応し、電気通信事業界の健全な発展と振興にいささかなりとも寄与してまいりました。

さて、私の協会とのかかわりは、創立当時以来の通常会員なのであります。また協会の仕事に関係したことの一つに次のことがあります。それは、昭和28年に遡りますが、当時、私は電電公社理事・保全局長の職にありました。電電公社としては、施設、線材および機械の品質向上と、保全の

近代化をいかに達成するかが、経営上大きなテーマとなっておりました。当時、産業界に品質管理という新しい概念を導入し、日本の工業製品の品質改良に貢献し、輸出振興の基礎を築いた西堀栄三郎博士に相談をいたしました。電気通信協会への委託事項として、同博士をプロジェクト・チームの長として、自動交換設備の保守について、品質管理の指導をして頂きました。そして「統計的品質管理方法」を採用しました。現場の極めて地味な仕事のなかに、公社の経営に大きく貢献する方法を導入することができました。

電気通信協会は公益法人としての40有余年の歴史をふり返り、発足当時の意欲あふれる設立の精神に思いを致すことは大変有意義なことと思います。

電気通信事業は、現代のイノベーションの先駆的役割を果たし、経済社会の基幹産業として、確固たる地位を築きつつありま

す。

このような現状をふまえ、まず第一に、公益法人として会員各位のお役に立つような公益活動を活発に行なうことが必要であると考えます。

そのためには、公益活動の母体となる会員数の増加を図ることが望ましいのであります。従来加入して頂いている通常会員（個人会員）および特別会員（法人会員）のほかに、更に新たに広く電気通信事業界に呼びかけて、会員の増加を図り、特に若い世代の会員層の充実を期したいと考えます。そして多様化する電気通信事業の情勢に対応した新しい公益事業を推進したいと考えています。

次に、財政基盤の確立が重要であります。

当協会では、電気通信事業における知識の普及、宣伝、開発技術を中心とした出版事業をはじめとして、各種収益事業を行な

っております。今後それら諸事業を発展させていくとともに、新サービスの開発、提供を行ない、財政基盤の確立に努め、公益・収益両面の調和のとれた発展を期していきたいと思っております。

全世界は、今や21世紀に向かって困難な道を歩んでおります。世界情勢の急激な変化に伴い、資源・エネルギーあるいは南北問題、先進工業国間の経済摩擦、インフレ対策などかつてない厳しい環境がわれわれをとり巻いております。こうした時に、電気通信の果たす役割は、国の総合安全保障、経済発展および国民生活の充実の上で極めて重要であります。

このような時代に、当協会がわが国電気通信事業界の発展に貢献できますよう、全員協力し、努力いたしたいと考えます。

最後に、会員の方々の変らぬご厚誼とご支援をお願いいたします。